

令和 8 年 8 月 26 日

会員各位

一般社団法人千葉県薬剤師会
会長 眞鍋知史
一般社団法人千葉県病院薬剤師会
会長 飯塚雄次

リーフレット「外用剤の混合について」の作成

平素より本会会務に格別のご高配を賜り深く感謝申し上げます。

さて、調剤用プラスチック製品の不安定な流通が続き、各機関では平時の調剤体制を維持するため工夫されていることと思われます。

一方、わが国では軟膏などの外用剤が処方された際、利便性などの目的で混合調剤することがあります。外用剤の混合は一定の利点があるものの、組み合わせによっては不安定な品質につながります。

これらを踏まえ、本会では外用剤の調剤方法についてあらためて考えました。必要に応じてチューブ単位で交付することも、有効な調剤につながります。

つきましては、地域医師会や処方元機関と調剤方法を協議することがございましたら、別添のリーフレットをご活用ください。

外用剤の混合について

複数の外用剤を使用するとき、利便性の向上などを目的にそれらを混合することがあります。ただ、主薬や基剤の組み合わせ、配合比率はいくつものパターンがあります。なかには薬学的な理由から混合できない組み合わせもあります。

混合できない外用剤とは？



複数の外用剤を混合する際、それら基剤の組み合わせによっては混合できないことがあります。また、同じ基剤だとしても、主薬によって配合不適などの場合があります。さらには製造企業の違いから、混合可否が分かれることもあります。

軟膏、乳剤性基剤およびゲルの混合可否¹⁾

	油脂性	水溶性	O/W型	W/O型	ゲル
油脂性	○	×	×	△	×
水溶性	×	○	△	×	×
O/W型	×	△	△	×	×
W/O型	△	×	×	△	×
ゲル	×	×	×	×	×

○：可能、△：組み合わせによっては可能、×：不可

混合は薬効に影響する？しない？



外用剤の基剤には薬物が溶解しており、それが皮膚を透過すると薬効を示します。複数の基剤を混合すると性質が変わり、皮膚透過性が変動することがあります。一方、軟膏の多くは主薬が基剤の中で飽和状態にあり、大半は結晶として存在します²⁾。従って、その軟膏を4倍に希釈したとしても結晶から主薬がさらに溶解するので、濃度が1/4になるわけではありません。

重ね塗りのすゝめ



重ね塗りは複数の外用剤を重ねて塗布します。例えばアトピー性皮膚炎の治療では、下地に保湿剤を塗布し、炎症部位にステロイドを塗布する療法も示されています³⁾。

1) 日本薬剤師会編、第十四改訂調剤指針増補版、薬事日報社、2022

2) 江藤隆史 他、軟膏・クリーム配合変化ハンドブック 第3版、じほう、2024

3) 日本皮膚科学会、日本アレルギー学会、アトピー性皮膚炎診療ガイドライン2024、日皮会誌 2024;134:2741-2843